



コースのあらまし コースの前半は、閑静な市街地を歩く。津駅前の県立博物館や借楽公園から、途中、美術館などもある広い道路を郊外へ。県総合文化センターを過ぎるあたりから田園地帯へと入る。伊勢別街道の付近で古い民家も残る街並に入り、常磐橋を渡って一身田寺内町へ。専修寺や古い商家、宿屋などを眺めながら一身田町を出る。毛無川沿いの道から田園地帯を進み、再び街中に入ると、まもなく高田本山駅だ。コースはすべて平坦で歩きやすい。

- 近鉄名古屋駅から津駅まで約1時間
- 大阪難波駅から津駅まで特急約1時間30分
- 京都駅から津駅まで特急約1時間45分(大和八木駅のみかえ)

新たな特典など、さらに充実!
近鉄 あみま倶楽部 会員募集中!
(年会費1,000円)
詳しくは、駅置きのチラシをご覧ください。

借楽公園 津藩主・藤堂高猷が営んだ別荘が起源で、公園名は高猷の俳号にちなむ。丘陵や谷など自然の地形を生かし、八つ橋のかかる池などを設けた趣のある庭園だ。春は桜のほか、「一日千本」といわれる紫つつじが美しい。

専修寺 通称・高田本山の名で知られる真宗高田派の総本山。観音像などを安置した巨大な御影堂や如来堂を中心とする三重県内最大の寺院だ。左甚五郎作と伝えられる鶴の彫り物など、どの建物にも華麗な彫刻が施されている。池泉回遊式の広大な庭園もある。

一身田寺内町 専修寺を中心に、末寺や商家、宿屋などが集まり、四方を堀で囲まれている。その範囲は、東西約500m、南北約450m。古い土蔵が環濠の水面に美しい姿を映す、落ち着いた街並。和菓子店の多いのが面白い。

●コース内の神社仏閣、施設等によっては、有料の箇所があります。

このコース地図は2016年11月1日調査に基づいて作成しています。風水害、天変地異等によりコース変更が生じることがありますので、事前にお問い合わせください。当コースのお問い合わせは近鉄名古屋イベント係 ☎(059) 354-7007

●約7キロ〔津駅～一身田寺内町～高田本山駅〕

津・一身田寺内町コース

●地図内の数字は、起点からの実測距離(メートル)を表わしています。
きれいな思い出 ●きれいな自然
ゴミやアキ缶は、持ちかえりましょう

企画・発行=近畿日本鉄道(株)
制作・印刷=(株)アド近鉄
イラストマップ=トシ・アトリエ 瀬川俊朗
※無断転写禁止。
近鉄